



YMCA News



2024年7月1日発行
公益財団法人とちぎYMCA
〒320-0041
宇都宮市松原2-7-42
Tel 028-624-2546
Fax 028-624-2489
www.tochigiymca.org
発行人 / 塩澤 達俊
編集人 / 公益財団法人とちぎYMCA



インクルーシブな社会を目指して

表紙の写真から：第18回とちぎYMCA国際・チャリティーラン2023にて。ランナーがいきいきと走っている姿が印象的です。

この度「YMCA 国際・チャリティーラン」大会委員長になりました、富田宇宙です。

私は小学生のころ熊本YMCAの水泳教室に通ってました。中学・高校でも水泳部に所属していましたが、当時は水泳選手を目指していたわけではありません。自分の名前のおと、宇宙飛行士になりたいと思っていたのですが、高2のときに網膜色素変性症を発症。徐々に視力を失っていき、24歳の時にパラ水泳の世界に入りました。今は、明るい・暗いに分かる程度。パラリンピック水泳では重度視覚障がいクラスのスイマーです。

その後家族を含めてYMCAとの関係は続き、コロナ禍で都内の練習施設が閉鎖された時には、熊本YMCAのプールで練習させていただきました。「YMCA 国際・チャリティーラン」も以前から応援しています。これからは大会委員長として、多くの子どもたちに豊かな体験の機会を提供できるよう、皆様と一緒に頑張っていきたいと思っております。

この大会は障がいのある子どもたちを応援すると共に、「障がいへの理解を高めること」も目的としています。これは私がパラ水泳を続けてきた目的ともつながります。私はパラ水泳でさまざまな障がいのある選手たちと過ごす経験を通じて、多様な人がいる環境こそが自然な社会のあり方であることを実感しました。私たちはスポーツを通じて、周囲とのつながりを育んだり、自分や仲間の可能性に気づくことができます。そうしたスポーツの力を伝えることもまた、パラアスリートとしての私の役割だと思っています。

スポーツを楽しむことは、すべての人に与えられるべき権利であり、一生懸命になんか打ち込む喜びを知ることは、豊かな人生を送るために欠かせない経験の一つです。障がいのある人もない人もみんなでスポーツを楽しめる社会にしたい。そしてあらゆる特性の人々が自分らしく力を最大限に発揮できる、本当の意味での共生社会を築いていきたい。大会委員長として、皆様と共に歩んでいきます。よろしくお願いいたします。

My name is Uchu Tomita, and I am the new chairperson of this year's YMCA International Charity Run.

When in elementary school, I started taking swimming lessons at the Kumamoto YMCA. I continued swimming and belonged to the swimming club through junior high school and high school. I wasn't thinking about becoming a competitive swimmer at the time. As my name suggests, I wanted to be an astronaut. During my second year of high school, I developed retinitis pigmentosa. I gradually lost my eyesight, and at the age of 24 began my life in the paralympic swimming world. Currently with my vision condition, I can only tell the difference between lightness and darkness. Now I am a swimmer in the class of severe visual impairment of paralympic swimming.

During the COVID-19 pandemic, most swimming facilities were closed, but I was able to keep practicing at the Kumamoto YMCA swimming pool. My family and I were active members of the YMCA since my childhood, and I also have been supporting the YMCA International Charity Run for a long time. As the YMCA International Charity Run Chairperson, I would like to provide a wonderful experience for many children, and I will do my best with the help from others who support this program.

The purpose of the YMCA International Charity Run is not only to support children with disabilities, but also "to promote awareness of what are disabilities". This purpose is also deeply connected to my goal of paralympic swimming. Through my experiences with athletes who have various disabilities, I realized that coexisting with diverse people was a more natural way for a healthy society to be. Through sports experiences, we can learn how to communicate better with each other and believe in ourselves and our teammates potential. I strongly believe that conveying the power of sports is one of my missions as a paralympic athlete.

After the Tokyo Paralympics, I traveled to Spain, which is strong in the paralympic sports world, to observe the training of their local paralympic swimming team. What impressed me most was not the special training methods, but the sight of so many children with disabilities enjoying daily sports at the regular facilities. Enjoying sports is a right that should be provided to everyone. Knowing the joy of devoting yourself to your dream is one of the essential experiences to live a richer life. I would like to create a society where everyone, whether they have a disability or not, can enjoy sports. I hope to build a truly inclusive society where all kinds of people can maximize their abilities in their own way.

As the chairperson, I will walk with all of you. I would like to thank all of you for your support.

日本YMCA同盟 国際・チャリティーラン HP より抜粋



YMCA 国際・チャリティーラン
大会委員長
東京2020パラリンピック競泳メダリスト
富田宇宙

日本YMCA同盟
国際・チャリティーランについて▶



第19回とちぎYMCA国際・チャリティーラン2024

2024年9月1日(日)開催予定

とちぎYMCAの使命。 ~みつかる。つながる。よくなっていく。~

2024年度とちぎYMCA年間聖句

《善いサマリア人》の喩え

新約聖書 ルカによる福音書 第10章30節~37節



認定こども園 さくらんぼ幼稚園

「花の日・水遊びの様子」



6月3日は花の日でした。各ご家庭でご用意いただいた花束を子どもたち一人ひとりが大事そうに持って、まあがれっと組は松原教会へ日頃の感謝を伝えるに行きました。「いつもありがとうございます」2歳児の子どもたちが精いっぱい覚えた言葉ですが、みんなで声を合わせて伝えた気持ちはしっかりと伝わりました。これからも感謝の気持ちを忘れずに過ごしていきたいと思ひます。

6月10日から水遊びが始まりました。子どもたちは水の感触を楽しみながら元気いっぱい遊んでいます。昨年は座って遊んでいた子も、今年は2つのプールを歩き来して伸び伸びと遊ぶ姿に成長を感じました。「プール楽しい!」「また一緒に入ろうね!」と友だちや保育者に掛けてくれる言葉にとっても嬉しく思ひます。まだまだ続く水遊び、たくさん楽しみたいと思ひます。

まあがれっと組 小宮山彩香



もうひとつの家 アットホームきよはら

「“あたりまえ”が当たり前でありますように」



先日、利用している小学6年生が修学旅行に行ってきた。一緒に見学するお友だちとの関係やお金の心配、荷物準備の心配、当日の早起きの心配と不安をたくさん抱えていたが、無事に出発。1泊2日で帰ってきた顔は、溢れんばかりの笑顔。少ないお小遣いの中から、職員にお土産も買ってきてくれました。「行って良かったね。」と心から思った瞬間でした。

学校行事とはいえ、行けることが当たり前では無い現実もあることを実感。これからも寄り添い、支えていければと思います。

子ども居場所「アットホームきよはら」Facebookを開設しています。是非、ご覧ください。

▶ <https://www.facebook.com/athomekiyohara/>



アットホームきよはら Facebook

ひがしやまアトムクラブ

「アトムでの子どもたち」



4月から来ている1年生も今ではずいぶん慣れて毎日賑やかに過ごしています。

1・2年生は塗り絵や工作が好きで折り紙で魔法のステッキやアクセサリなどかわいらしい物を上手に作っていて、スタッフを驚かせています。高学年ではアトムでもタブレットが使えるようになったので、学校から帰ってくるとすぐにタブレットを出し、楽しんでいます。そしてタイピングの速さにも驚かされます。

今回も町内のふれあい作品展に子どもたちの作品を展示させていただきました。一生懸命作った動物バッグ・ストローで作ったネックレス・レゴなど、たくさんの方にとっても喜んでいただきました。

支援員 飯田律子



ようとう保育園

「年中児ふじ組 元気いっぱい!ようとうパワーを届けよう~祝10周年~」



6月15日に開催された運動会に向けて、ふじ組23名は、毎日の活動のなかで楽しみながらリレーやバルーンに取り組みました。3チームに分かれて、保育士も活動を共にしながらリレーあそびの楽しさを伝えていくと、「今日もやりたい!」と子どもたちからの声が聴けるようになりました。やり始めた時には、負けていると悔しくて泣き出してしまったり、走るのをやめちゃう子もいましたが、経験を重ねるごとに「きいろチームが勝つ!」などチームで勝つことを考えられるようになっていきました。負けていてもあきらめずに最後まで走ることができるようになりました。運動会当日に向けてあか、きいろ、みどりそれぞれチームの優勝を目指し、一戦一戦が期待感に溢れた取り組みとなりました。

毎年、年中児恒例となっているパラバルーンに初挑戦。憧れもあったようで常に「楽しい!!」と意欲的に取り組むことができました。初めは気持ちがバラバラでひとつのバルーンを上げたり、膨らますことがうまくいかないこともありましたが、笛の合図に合わせて「おへそ!!」の掛け声を掛け、バルーンをタイミング合わせて引っ張り上げたりできるようになった時、「膨らんだね!」「すごいね!」とクラス皆でできた喜びを分かち合い、心が一つになり技が完成したという達成感を味わうことができました。

運動会に向けた日々の活動を通して、ふじ組が一つになり、友だちと協力して行う楽しさを一人ひとりの子どもが感じることができたと思ひます。

ふじ組担任 高松 ひとみ・荒関 沙弥



子どもの家だより

~瑞穂台子どもの家 (みず台クラブ)~

「夏、到来!」



子どもたちは夏が大好きです。学校ではプールの授業が始まり、子どもの家でのおやつにアイスの登場が多くなり、虫や生き物がたくさん出てきます。校庭の端にある築山で、バッタやカナヘビを捕ったり、花壇の近くでダンゴムシを集めたり、花の蜜を探している蝶々を追いかけて回したり・・・。

夏休みの準備が始まり、スタッフは忙しくなってきましたが、子どもたちは「今年の夏」を全力で楽しむ

そうです。私たちスタッフも暑い夏に負けないように頑張ります!

主任支援員 松本 しのぶ



宇都宮市青少年活動センター(トライ東)

「あそぼまつりを開催いたします!」

2024年 宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 主催事業

あそぼまつり

2024年 7月14日(日) 11:00~15:00 入場 無料

【対象】市内在住 在籍・在学者
 【費用/定員】小学生以下 1名につき200円/定員100名
 【持ち物】参加シューズまたはスリッパ
 【申込み】お電話、お申し込みください

【お問い合わせ】宇都宮市青少年活動センター(トライ東) 021-264-2782(受付) 021-264-2783

毎年恒例【あそぼまつり】を、今年も開催いたします!

お友だち同士で、ご家族同士でお気軽にご参加ください。スタンプラリー参加枠(お子様先着100名限定)もまだ空きがございます。

スタンプラリー参加は、事前の予約が必要になりますので、お問合せください。

皆様のご来館をお待ちしております!

あそぼまつり 詳細はコチラ!



国際協力募金「カレーの日」を開催しました!

6月8日(土)に国際協力募金のための「カレーの日」を実施しました。
 会場はさくらんぼ幼稚園のゆり組です。子どもたちにも食べてもらいますので、甘口とそれから大人のための辛口のスパイシーカレーを用意しました。
 カレー作りは、前日に大量の玉ねぎを切り、当日も2時間以上スパイスを混ぜて煮込みました。玉ねぎ切りのボラや当日の配膳ボラなど、そしてご家族でカレーを食べに来てくださった方たちにより、益金の23,000円を国際協力募金に入れることができました。
 頂いた募金は、フィリピンの学生への奨学金、ユース研修費、災害や戦争で被害にあっている世界の人々の支援などに使われます。
 ご協力頂いた皆さま、ありがとうございました。

【ボランティアの方たち】(敬称略)
 食材の提供: 山下貴久子、町田奈々
 玉ねぎ切り: 山下貴久子
 配膳など: 明石ちはる、藤生容子、小井土明日香、スクラム温代



SDGsの実現に向けて



高校生ボランティアグループ「つぼみ」

つぼみ食堂の開催のご案内



2024年度とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」

つぼみ食堂

とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」による「つぼみ食堂」です。
 子どもたちや地域の方々を中心に、とちぎ「アットホーム」な居場所づくりを目指しています。
 費用→おまもりで。

青少年活動センター
 トライ東
 〒321-0982
 宇都宮市今泉町3007
 ☎028-663-3155
 担当: 川口

日時

とちぎYMCA高校生ボランティアグループ「つぼみ」が『つぼみ食堂』を開催いたします。
 2024年度は年間6回の開催を予定しております。
 つぼみ食堂は、高校生がつぼみでの活動をする中で、
 ①子どもの居場所をつくること
 ②1人でも多くの子どもを笑顔にすること
 を目的に開所した子ども食堂です。今年度第1回目の報告についてはつぼみ通信をご覧ください。

【年間予定】

- ①6月8日(土) 16:00~18:00
- ②7月20日(土) 16:00~18:00
- ③9月21日(土) 16:00~18:00
- ④10月26日(日) 時間未定
 ※宇都宮市青少年活動センター(トライ東)
 主催事業「ハロウィーンカーニバル」内での出店
- ⑤2月8日(土) 16:00~18:00
- ⑥3月22日(土) 16:00~18:00



※7月14日(日)宇都宮市青少年活動センター(トライ東)
 主催事業『あそぼまつり』にも、出店が決まりました!
 7月14日(日)11:00~15:00(※最終入場は14:30)
 フルーツポンチを販売します!

みなさんがきてくださることを楽しみにしています!

第13回日本YMCA同盟協議会が開催されました!



6月15・16日 YMCA 東山荘 (御殿場) で第13回日本YMCA同盟協議会が開催されました。日本YMCA中期計画、世界YMCA Vision2030、ウクライナ避難者支援報告、能登半島地震支援報告などが主なテーマで、総会決議も行う大切な会議です。

いずれも意義深かったのですが、特にとちぎYMCA にお伝えすべきは次の点です。

1. 2024年度主事認定証授与式においてスタッフの平山雄大さん(のりしおリーダー)が主事認定を受けユース世代の日本YMCA 認定主事になったこと
2. 全国でもユース世代の代議員(とちぎ Y でも評議員)として会員の阿久津知志さん(つくつくリーダー)がとちぎYMCA 代表として堂々の投票を行ったこと
3. 秋の日本YMCA 大会の20代若者実行委員としてスタッフの牧野友香さん(ムーミンリーダー)が大会PRの寸劇を頑張ったこと、などです。

ここ数年の日本のYMCAは、世界や地域の課題解決に大いに関心を寄せて活発なアクションを行っているのですが、これを仮に「外なる課題解決」とするならば、一方で「内なる課題解決」とも向き合い苦戦を重ねてきました(重ねています)。

日本YMCAのトップガバナンス(意思決定)の場である日本YMCA同盟協議会において、会場の大多数を日本国籍者と高齢者と男性優位のオールド・ボーイズ・ネットワークで占められるといった光景からの脱却に苦心してきた(苦心している)のです。事実、昨年度はゲストの世界YMCA同盟ソヘイラ会長から厳しい指摘(女性と若者が少ないですね〜)もいただきました。

今回のとちぎYMCAは、そのような閉塞に一陣の風を送った参加だったといえるでしょう。日本のYMCAの中では比較的歴史もスタッフの経験も浅いとちぎYMCAですが、若々しく!さわやかに!闊達に!これからも参りたいと思います。

とちぎYMCA 総主事 塩澤達俊

月刊#(ハッシュタグ)

第37回 #なにそれなにそれ

#祈り #新しい革袋 #YMCA EAST #トポス

とちぎYMCA総主事
塩澤 達俊

「お祈りメール」をご存じでしょうか?就活の学生さんならピン!とくるでしょうが、企業から告げられる不採用メールの定型句「ますますのご活躍を〴〵お祈り、申し上げます」に由来する呼び名だそうです。「お祈り」もだいふんと落ちたものです^^;

さて、7月1日宇都宮東YMCA(峰4丁目)が陽東4丁目に引っ越しして『YMCA EAST』としてリニューアル・オープンしました!新しい会館の外観はネイビーで内装はあたたかい木目と白色が基調です(7月27日のお披露目オープンハウスに来てください)。

今はまだガランとした「空間」ですが、やがて「人」や「思い」がたくさん詰め込まれた《トピックス(話題や議題や出来事)》が満載の「場所」となる予定です。

ところで《トピック》の語源はギリシア語で「場所」を意味する「トポス(topos)」に由来があり、空っぽの「空」+「間」=「空間」が、「人と場所をむすぶ力」によって、特定の輪郭を持つ=今回はYMCAという輪郭をもつ「場所」すなわち「トポス」へと変わるという関連性があります。

わたしは、「人と場所をむすぶ力」のひとつに「祈り」があるのではないかと思います。

聖書の言葉(マタイ第9章第1節)に、「新しいぶどう酒は新しい革袋に入れよ。そうすれば、ぶどう酒も袋も両方が保たれるだろう」とあります。

建物としてのYMCA EASTはまさに新しい革の袋で、新しい「酒」とはこれからみんなで作る《トピックス》のアレコレでしょう。空っぽの意味に漢字で「虚」を充てることがあり、空虚や虚ろと書くとか「アレ」ですが、「謙虚」「虚心」とくればどうでしょう?

本当の「祈り」とは、神さまにすべてを委ね、心を空っぽにして、よけいなことは考えないで、心の中の本当に大切なことや人と向き合い、自分のことばかり考えるのもやめて、心を開いておくことが大切といわれます。

新しいYMCA EASTは喜ばしい「新しい革袋」ですが、この空間に「虚心」で「謙虚な」心の姿勢で未来を求め、祈り、「新しい酒=トピックス」満タンで行きたいともいます。

高校生ボランティアグループ「つぼみ」

つぼみ通信 vol.15



6月つぼみ食堂を実施しました!



6月8日(土)に高校生ボランティアグループ『つぼみ』によるつぼみ食堂が宇都宮市青少年活動センター(トライ東)で開催されました。

今回のメニューは塩昆布とツナ缶の炊き込みご飯とけんちん汁でした。

今年度初のつぼみ食堂でしたが、食事はもちろんのこと、外に遊びスペースを設置し、しゃぼん玉や縄跳びなどで、来てくださった方に楽しんで頂くことが出来ました。

先輩方が作ってくれた『つぼみ食堂』を更に、パワーアップさせて提供できるように力を合わせて頑張ります!これからも応援をよろしくお願いいたします。

【感謝】2024年度とちぎYMCA 会員報告

■2024年5月 会費ご納入いただいた皆さま(敬称略)

正木敬子、大浦智子

ありがとうございました。